

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ビキタ郡マシヨコ・クリスチャン病院におけるレントゲン機材整備計画」の完了

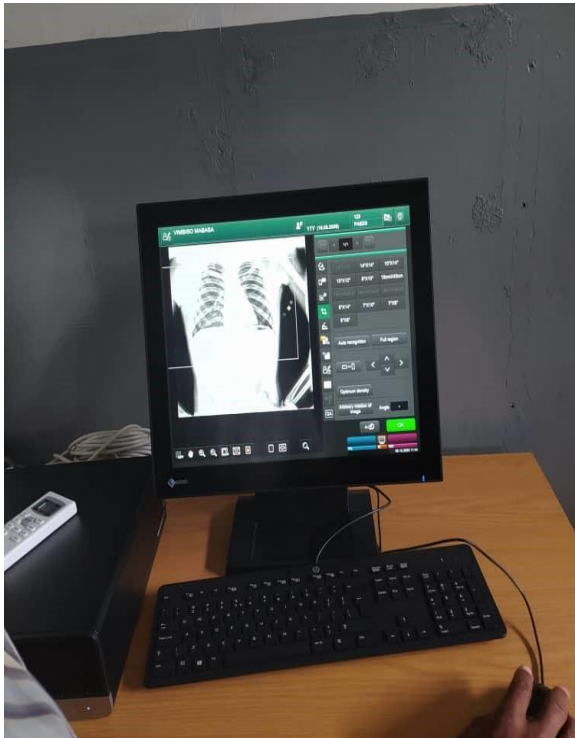
ビキタ郡マシヨコ・クリスチャン病院において、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ビキタ郡マシヨコ・クリスチャン病院におけるレントゲン機材整備計画」（レントゲン機材資金等の提供）により実施された施設の整備が、本年12月までに完了しました。

同プロジェクトは、日本製のデジタル式レントゲン機材及び太陽光発電装置を整備することで、効率的かつ精度の高い検査診断を実現し、貧困状況にある地域住民への適切な医療の提供を図るもので、同地域で活動している国際NGO「ソリダールメド・ジンバブエ」により実施されました。

同プロジェクトが完成する以前は、モバイルレントゲンを使用していましたが、小型であるため胸部や背部のレントゲンを撮影することができず、必要な場合には100km程度遠く離れた病院まで出向かなければならず、患者への経済的・身体的負担が大きい状態でした。

同団体によると、「太陽光発電装置が整備されたことにより、多発する停電の場合でも継続的な医療サービスの提供が可能になった」、「質の良いレントゲン写真に安価でアクセスできるようになり、結核等の病気に不安を抱える住民から大変喜ばれている」、「チコンベジ郡外からも、高水準の医療を求めて患者が来院してきている」などのフィードバックが病院から来ており、今回の整備により早くも大きな効果が現れています。







写真提供：ソリダールメド・ジンバブエ